

# 西中学校区 保幼小中連携通信

グローイングアッププラン 1年目 [点を深めるブロック連携]

第4号 平成29年9月6日

発行責任者 福田 真人

(西中学校区連携コーディネーター)

## ～西中校区夏季合同研修会 全体会～

西中校区夏季合同研修会に多くの先生方  
にお集まりいただき、ありがとうございました。  
合同研修会の全大会として茨木市ス  
クールカウンセラースーパーバイザーの



桧谷真美先生に「学校現場におけるアセスメントー行動の背景を理解するー」の講演をしていただきました。感受性訓練などのワークショップ、アセスメントやプランニングの大切さ、子どもの問題行動の背景を年代別に考えるなど今後の教育活動に活かせる多くの内容を学ぶ事ができたかと思ひます。是非とも今後の教育活動に活かしていただきたいと思います。



## アンケート結果より抜粋

- ・ 現在受け持つ子どもたちの様子を考えながらお話を聞かせていただきました。暴言や言葉遣いの悪い生徒がなかなか改善されず、その背景を考えていくことをしていましたが、年齢や成長段階によって受ける影響や、その時期の家庭の様子なども考える必要があると感じました。
- ・ 年齢、学年ごとによる子どもに様子や育て方がわかり、その中で育てられなかったことが次の段階まで引き継ぐというのがわかったので、子どもの現状だけを見て、判断するのではなく、しっかりと情報を集めることが大切だと思った。
- ・ 情報をしっかり得て、考えられるアセスメントを出していくとプランニングもしやすいので、ケース会議ではより質の高い物ができることがわかった。
- ・ 「その子を好きになる」「その子に興味を持つ」そのことがすべてだと思います。子どものことを本気で考え悩みあえる教師集団であり続けたいと思いました。
- ・ 小学校1、2年の頃は習慣をつけるのにベストな時期と聞き、クラスの学習の規律を身に着けさせないといけなかったと思いました。また、ひとりの子どもに対して一貫性のある関わりが大切であり、その関わり方が、今後のその子の成長に繋がることがわかりました。自分を表現できるような居場所があれば、問題行動の初期段階に気づくチャンスも増えるのではないかと思います。
- ・ 情報がたくさんあっても落とし穴もたくさんあって、正しい分析をしっかりとしていかなければいけない。
- ・ 大変興味深い講演でした。感受性訓練も楽しく参加しました。また、アセスメントとプランニングも非常に具体的で理解しやすかったです。ピアカウンセリングもお聞きしたかったです。
- ・ 家族構成の図だけを見てもわからないことが多すぎる。ただ、Aさんがなぜ不登校気味になってしまったのか…を知るために、どの学年でどんなことが芽生えてくるのかなどが知れたので良かった。
- ・ 幅広い年齢の発達課題や生育環境について聞くことができたので、自分が普段かわっている子ども達がこの先どうなっていくのかを見通しを持ったり、それを踏まえて今、自分がどんなことが出来るかのヒントが得られたように思いました。また、小学校も中学校も何となく、ぼんやり…だった事がクリアになったとも思います。近くの先生と感受性訓練をしたり、他校種の先生の意見を聞けたことも、違った視点に気づくこともでき、よかったです。